

第 116 回 光応用・視覚技術委員会議事録

平成 20 年 4 月 25 日

光応用・視覚技術委員会

委員長 高橋信一

日時：平成 20 年 2 月 22 日（金）14：30～17：30

場所：日本交通協会第 1 会議室

出席者：高橋委員長、岡田、亀井、篠田、白水、堀内、神藤各委員、
君島、木下各幹事

配布資料

- No.116-01 第 115 回光応用・視覚技術委員会議事録（案）
- No.116-02 第 74 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録
- No.116-03 リソグラフィ先端技術調査専門委員会解散報告書
- No.116-04 リソグラフィ極限技術調査専門委員会設置趣意書
- No.116-05 第 12 回リソグラフィ先端技術調査専門委員会議事録
- No.116-06 第 9、10 回安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会議事録
- No.116-07 光応用・視覚委員会平成 19、20 年度活動
- No.116-08 光応用・視覚技術委員会名簿

議事

1. 新任の 2 号委員の紹介

神藤正士氏（静岡大学）が次世代光源調査専門委員会委員長として就任したことが紹介された。

2. 前回議事録確認

訂正 5 件が承認された。

議事 3. 1 A 部門調査研究運営委員会 A 部門研究調査運営委員会（2 箇所）

議事 3. 1 2) 放電と誘電と絶縁材料両委員会 放電と誘電・絶縁材料両委員会

議事 5 神野委員、愛媛大学本村英樹先生 神野委員より推薦された愛媛大学本村英樹先生

議事 1 1 A 部門関連では 光応用・視覚技術委員会関連では

議事 1 2 推薦を締め切るので 推薦を締め切るので

3. A 部門研究調査運営委員会報告

高橋委員長より配布資料 No.116-02 に基づき、第 74 回 A 部門研究調査運営委員会の報告、連絡事項および 2/8 に開催された第 75 回 A 部門研究調査運営委員会の内容も含めて以下が報告された。

- 1) 技術委員長・1 号委員の交替が承認された。運営委員長より一度に大量の交替は問題、計画的な交替が望ましいとのコメントがあった。
- 2) 複数技術委員会間の調査専門委員会の設置について
合同の設置を積極的に認める方向。

- 3) 学術情報システム関係
技術報告が電子化され、2007年10月1日から実施されている。メーリングリストサービスも運用開始された。
- 4) 全国大会日程について。2008、2009年の日程が決まった。
2008年 福岡大 2009年 北大 2010年 明治大
- 5) A部門大会について
2008年 千葉工大(C部門と日程が重複)、2009年 静岡大、(2010年 沖縄)で開催される。
- 6) 優秀論文表彰について
当技術委員会では100周年記念基金による研究会が少ないので候補枠が無い。
現在の3倍の論文数が必要。
- 7) 国際会議の部門開催について
平成20年度から黒字金のプールができるようになる。
- 8) 卓越DB委員会の報告について。(配布資料 No.116-02 添付の AR-75-2-4 を参照)
2008年3月で活動を終了し、<http://www.dbjet.jp/> でDBを公開している。
- 9) 単行本出版について(配布資料 No.116-02 添付の AR-75-2-2~3 を参照)
技術報告書を単行本出版に変更できる。その場合出版企画書と予算書が必要。
- 10) 次世代光源調査専門委員会の設置が承認された。放電分野の委員が多く、材料(半導体)分野の委員が少ないと指摘された。
- 11) 研究会資料を技術報告書とすることについて
委員会の解散時に研究会資料を報告書とすることを認めることになった。設置時も協議の上で認める(A部門では前例なし)。
- 12) 当委員会のホームページ(現状は日本語のみ)は学会のサーバに移行した。
- 13) 技術委員会の現状について
教育・研究技術委員会、放電技術委員会、パルス技術委員会、光応用・視覚技術委員会が活動内容を報告した。
教育・研究技術委員会の現状について技術者教育委員会で検討を進めている。
当技術委員会の活動については、境界領域部分が多く、調査専門委員会の設置が難しいこともあり、研究会は年4回だったのが2回になっている現状を報告した。
計測技術委員会等と合同で調査専門委員会を立ち上げる等活性化が必要。
4. 調査専門委員会の解散と設置承認について
高橋委員長からリソグラフィ先端技術調査専門委員会解散報告書(配布資料 No.116-03)とリソグラフィ極限技術調査専門委員会設置趣意書(配布資料 No.116-04)による申請が第75回A部門研究調査運営委員会で承認されたことが報告された。
5. 技術報告書の進捗状況について
 - 1) 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会は遅れていると岡田委員から報告された。
 - 2) メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会は70ページ以下になるようにまとめて

いるところであると報告された。

6. 編修委員の交替について

篠田委員を推薦したい旨高橋委員長から提案され承認された。

7. 1号委員の推薦について。

依田育士氏（産総研）に再度就任いただく旨高橋委員長から報告され承認された。さらにもう1名の推薦を依頼された。

8. 委員長交替について次回審議したい旨高橋委員長から報告された。

9. 調査専門委員会の活動報告

リソグラフィ先端技術調査専門委員会（配布資料 No.116-05）と安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会（配布資料 NO.116-06）の活動報告がされた。

10. 平成 19、20 年度活動計画の確認

配布資料 NO.116-07 に基いて 19 年度活動と 20 年度予定を確認した。亀井委員より「光応用・視覚一般」のテーマで合同の研究会を定期的を開催することが提案され、検討していくことにした。

11. その他

以下について高橋委員長から報告された。

1) EINA マガジンの発行とホームページ更新について

EINA マガジンに掲載した当委員会のトピックス記事の日本語版をホームページに掲載した。

3) A 部門表彰の推薦について

学術・貢献賞に前 1 号委員の石井弘允氏を推薦することにした。

4) A 部門誌 9 月号記事について

安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会からの報告原稿を綱脇委員長に依頼した。

5) 電気学会誌 120 周年記念号（6 月号）記事について

自動車用 LED ヘッドライトについて小糸製作所の方が執筆することになった。

12. 次回委員会について

日時：平成 20 年 4 月 25 日（金）14：00～17：00

場所：日本交通協会第 2 会議室

以上

